

知って当たり前前 介護ガイド帳



上原喜光

猛暑で介護する側、される側の体力にも限界がきています。一方、へ他人の世話にはならない」と一人で頑張っている高齢者もいます。熱中症による死者は、過去最悪のペースだそうです。それなのに、政治家が軽井沢でビールを飲んで乾杯している国でいいのでしょうか。

まあ、愚痴っぽいことを言っても始まりません。政治が悪いなんて言っている間も、老親のシモの世話をしなくてはいけないので

相談料はタダ。使わないと損です

す。気象庁によると、この記録的な高温は9、10月も続くそうです。秋風が吹くのは遅くなりそうです。その頃には介護疲れによる自殺が増えないかと今から心配しています。つらいときは「つらい」、苦しいときは「苦しい」と言うことが大事です。

全国介護者支援協議会が推進している「声かけ運動」も重要です。遠くの親

戚より近くの他人。同僚がピアガーデンの誘いに乗ってこなければ、介護中かもしれませんが、もう一度、基本をおさらいしてみましよう。公的な相談は、「地域包括支援センター」に行きます。パン

コンの前でこれを読んで人はへあつたかタウンとワード検索してください。全国のセンターの電話番号と住所が一発で出てきます。ボランティア相談なら「社会福祉協議会」です。同じく電話番号と住所が出てきます。地域の救急病院を知っていますか？ 台東区在住なら「永寿総合病院」「浅草病院」の2つぐらいは確実に覚えておいてください。生活保護申請が認められず、親を熱中症で亡くされた人がいます。介護中の人は「苦しい」と大声で叫ぶ。これが一番。聞いてくれる場所があるので。周囲も大声で「頑張れ」と支えましょう。

（全国介護者支援協議会会長）